



公明党府議会議員団 団長
八重樫 善幸

大阪の万全な防災対策の構築を!

警察危機管理常任委員会での質問から

大阪880万人訓練について

◎ 東日本大震災の翌年、2012年2月議会の代表質問で、エリアメールという緊急速報メールを活用することで、府民全員を対象とした訓練を行うべきと提案。同9月に880万人訓練としてスタートした。

◎ 本年8月、南海トラフ地震臨時情報が発表され、改めて府民一人ひとりが(災害時に)適切な行動がとれるよう意識を高めることが重要。

◎ 今年度、学校、工場等の場所に合わせた訓練の好事例集をとりまとめ、これを参考に実践していただくよう広く周知し、企業や団体等の参加拡大を図るため、「訓練参加認定証」を進呈し、防災活動に力をいれている証として活用いただいた。また、大阪防災アプリを活用し、訓練中に情報発信を行い、防災意識の向上を図った。

◎ 今年度の参加登録団体は約2,200団体。今後とも大阪880万人訓練を通じて、府民自らが命を守る行動に取り組んでいく。

◎ 発災時、自らの命を守るためにその時その場所ですら避難するのが正しいのか、的確な情報を提供することが大切。

◎ 「釜石の奇跡」から、子ども達への防災訓練がその地域の避難行動をも変えたことを学んだ。今後、学校での訓練参加増加にどう取り組むのか。

◎ 府内の小中学校等に対し、本訓練のポスターの掲示するなど周知・広報に努め、子ども向けに「もずやん」のイラストや「もず語」で記載された参加認定証を作成し、保育園・幼稚園を含む学校などから昨年の約3倍である170団体が登録された。

◎ 引き続き、児童・生徒が訓練に参加しやすい時間を選定するなど、多くの小中学校にご参加いただけるよう取り組んでいく。

◎ さらには、多くの子どもたちが参加できるよう、おおさか防災アプリの活用も含め、お願いしたい。

帰宅困難者への徒歩帰宅支援について

◎ 災害時の帰宅困難者支援について、公共交通機関の不通時に、帰宅可能ルートの確認や水・食料、トイレの確保など、帰宅困難者を支援する取組や情報発信について伺う。

◎ 発災後、従業員等を施設内で待機させ、むやみに移動させない「一斉帰宅の抑制」、利用者が多い駅の混乱防止のため、鉄道の運行再開時まで利用者を受け入れる「一時滞在施設の確保」、混乱収束後に、徒歩帰宅者などが安全に帰宅するための「帰宅支援」を3本柱として実施。

◎ 府域を越えて移動される方々へ、関西広域連合が徒歩帰宅ルートを地図で確認できる「帰宅困難者NAVI(ナビ)」を作成し、広く情報発信している。

◎ さらに、コンビニエンスストアや外食事業者等と「災害時における帰宅困難者支援に関する協定」を締結し、各店舗を「災害時帰宅支援ステーション」と位置づけ、水道水やトイレ等を提供する取組を進めている。本年5月

現在、近畿圏で28事業者、12,404店舗の協力を得ており、同NAVIで確認できる。

◎ 望望 今後は、関西広域連合の「帰宅困難者NAVI」と「大阪防災アプリ」を連携すべき。



大阪防災アプリの拡充、動画を活用した周知について

◎ 2024年1月末に大阪防災アプリの提供が開始された。アプリでは、大雨や地震等に関する気象情報や自治体が発表する避難に関する情報、カメラによる河川水位の状況、鉄道の運行状況といった様々な情報が簡単に確認できる。

◎ 能登半島地震では、被害の少なかった金沢市と隣接している内灘町で、液状化による建物の倒壊や道路の陥没・隆起等により、耐震化済みの小学校でも校舎は使用不能だった。

◎ 大阪府においても広く液状化が想定されるエリアがあり、より効果的で有用なアプリにすべき。その操作やその活用方法の周知についてどう取り組むのか。

◎ 大阪防災アプリでは、液状化マップのほか、災害リスクにつながる地形・地質に関する情報など未掲載の情報もあるため、本アプリから確認が可能となるよう、掲載する防災情報の拡充を図る。

◎ また、本アプリの使い方を、まずは大雨・洪水時の操作方法の動画をYouTubeに公表した。引き続き、台風・高潮編や地震・津波編等といった災害に応じた操作方法や、ダウンロード及び設定手順を説明する動画についても順次公表し、改善に取り組んでいく。

信号交差点における渋滞対策について

◎ 服部緑地公園周辺の信号交差点では、しばしば交通渋滞が発生しており、数多くの市民から、なんらかの対策をすべきとの声がある。

◎ ハード面などの対策が困難な信号交差点では、現在、どのような対策を講じられているのか。

◎ 地域住民の方からの御意見なども踏まえ、隣接する信号機の周期を調整し、交通渋滞の緩和を図っている。

◎ 引き続き、道路管理者に対して、交差点改良などの対策を働き掛けるとともに、渋滞対策を進めていく。

◎ 望望 今後、服部緑地公園内に日帰り温泉施設が建設され、再来年にはオープン予定。地域住民から更なる対策の要望がある。

◎ 一昨年警視庁で導入されたAIを活用した信号による渋滞対策を大阪府警察でも、検討すべき。



やえがし善幸 公式ホームページ

https://www.yaegashi-y.jp



■八重樫 善幸・プロフィール

大阪府議会議員5期(豊中市選挙区)。公明党大阪府議会議員団 団長。警察危機管理常任委員会 委員。大阪府私立幼稚園振興議員連盟 副会長。関西宮澤賢治の会 副会長。岩手県北上市出身、県立黒沢尻北高、岩手大学農学部農芸化学科(生化学研究室)卒業。日本モンサント株式会社(現在ファイザー(株))でマーケティング、MRIに従事。